

備前市事務事業評価表

(平成17年度事業)

事務事業名	隣保館管理運営事業		コード	05-02-03-03	担当課係	人権啓発課・いんべ会館
事業実施期間			担当者	米田誠治	電話	0869-64-0890
総合計画 事業(政策)体系	大項目	住民主体の協働のまちづくり				
	中項目	ふれあい豊かなまちづくり				
	小項目	人権問題				
	施策	人権意識の高揚・人権の尊重				

事業について	
目的	地域社会全体の中で福祉の向上を目指し、人権啓発に関する各種事業を行い、住民交流の拠点となる開かれたコミュニティセンターとしての役割を果たす。
対象(誰のために)	目的とする地域福祉の向上や人権啓発のための各種事業は性別、年代、団体などを越えた広い範囲の人々に対して行う必要があり、そのことから、広く全ての市民が対象と言えるが、主に成人を対象にしている。
内容	各種教養講座、各種イベント、人権啓発に関する講演会や講座、自主グループ活動など様々な内容の事業を開催、機会提供し、関心を持って参加や施設利用がしてもらえるように配慮するとともに、館だよりに掲載事業等を掲載してお知らせをしている。

事業の結果				
実施項目	17年度	回数など(単位)	回数など(単位)	回数など(単位)
ふれあいサロン講座参加者数	118人			
ライフサポート講座参加者数	67人			
いんべ会館だより発行回数	4回			
人権講演会参加者数	95人			
文化祭参加者数	300人			

事業費 (単位:千円)	事業費		財源		事業費		財源	
	直接事業費	2,125	国庫補助金等	8,972	直接事業費		国庫補助金等	
	人件費	12,975	受益者負担		人件費		受益者負担	
	合計	15,100	市債	6,128	合計	0	市債	0

必要人員	3.15人			
結果指標名	ふれあいサロン講座参加者数			
結果指標量	118			
単位	人			
対前年比	—			
事業費	1,035,250円			
単位当たりコスト①	8,773円			

結果指標名	ライフサポート講座参加者数			
結果指標量	67			
単位	人			
対前年比	—			
事業費	1,045,250円			
単位当たりコスト②	15,600円			

事業の成果			
成果指標名	ふれあいサロン講座参加率	式又は説明	参加者/参加可能延べ数
成果指標量	17年度 95%		
到達目標値	95%	到達目標年度	平成19年度

事務事業の評価		課題認識	
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	<input type="checkbox"/> 関係法令等で目的が定められており妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化しつつある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である 関係法令等:	地域福祉事業、人権啓発事業、特に住民交流に関する事業は継続的に実施していくことが大切であり、その実施内容については、性別、年代を越えて出来るだけ多数の人が参加、学習、交流できるものを企画、開催する必要が有る。なお、主義主張の違う団体が2組織あるため、行政が主体性を持って実施することが最良であると考えている。
	対象の妥当性	<input type="checkbox"/> 受益者の拡大を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 受益者の縮小を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の対象者は妥当である	
	市民ニーズの妥当性	<input type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請のある事業である <input checked="" type="checkbox"/> 市民に概ね好評な事業である <input type="checkbox"/> 公共秩序の維持、行政の適正運営に必要な事業である	
	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 国・県又は関係法令で定められている事業である <input type="checkbox"/> 民間に類似サービスがある <input checked="" type="checkbox"/> 本市が関与すべき事業である <input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の影響は大である	
効率性の評価	コストの効率化	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは増加傾向にある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力をしている <input type="checkbox"/> できる限り民間活力を利用している <input type="checkbox"/> 受益者負担額は適正である	講師のボランティア、資材の寄付をお願いするなどコスト削減に努めると共に、住民のニーズに合った事業実施内容、広報の活用、各種団体への呼びかけ等、効率的なPR方法や内容を検討し必要な改善を図る事が求められている。
	手段の最適化	<input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で確認・見直しを行っている <input type="checkbox"/> 他に有効な代替手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 事業は他部署と密接な連絡調整を行っている	
	職場の効率化	<input checked="" type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 事業に関するOJT(職場研修)は行われている <input type="checkbox"/> 事業の進行管理を定期的に行っている <input type="checkbox"/> 事業実施について職員の見解・要望が反映しやすい	
有効性の評価	目的達成度	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している	住民の、「『ふれあいと交流』講座」は成果をあげており、さらに受講者の増加及び年齢層の拡大を図るため、高齢者に限らず若者にも受け入れられやすい事業を取り入れるなど、企画の再考が求められている。
	成果向上の可能性	<input type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input checked="" type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある	
	市民参画度	<input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている	

事業の目的、対象、内容を考えながら目的の妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標とある成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

総合評価	
コメント	ふれあい事業は、当館が住民交流の拠点となる開かれたコミュニティセンターの役割を果たすためにも大切な事業である。(実施講座に年度ごとの内容変更があり、また、受講可能数が増減するので、一概に参加者数のみで成果を計るのは難しい。)
評価区分	<A~E> C

今後の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する <input type="checkbox"/> 完了・統合		
翌年度 結果指標量①	120人	結果指標量②	100人
目標値 成果指標量	95%		

改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
効率性	地元各種団体、役員へ直接案内の強化	毎年度	参加人員の確保及び増加
有効性	若者向けなどの企画の再考	毎年度	若い人の参加人員の増加